

軍需用革具を手がけて 受け継いだ「職人技」 皮革製品製造・加工の老舗

石井製作所

石井製作所（本社工場・世田谷区代田、石井朝道社長、03・3413・5451）は先代の石井重男代表が、昭和9年に軍需用革具製造の個人事業として創業した。昭和35年に石井製作所として法人成りした以降も、半世紀以上にわたって皮革製品の製造・加工を手がけてきた実績をもつ。

古くは軍隊の乗馬用の馬具作成やトランジスタラジオのケースを製造していたという同社、もっとも過酷な現場で長時間使用されるに足る実用性と耐久力を備えた丁寧な仕事ぶりには定評がある。現在では、電気工事業などで使用している腰袋など、さまざまな業務用皮革製品を製作している。腰袋は約1カ月の納期でより軽く丈夫なレザー（合成皮革）で製作するが、使用するのが天然の革である場合は、同じ製品をつくる際でも、それぞれの革の特徴や状態が異なるので画一的な工程では対応できないことも少なくない。皮の裁断・プレス加工は本社工場で作業して

から栃木工場に持ちこんで量産するなど、作業工程を工夫して効率を上げる。皮革の

特性の見極めには熟練した匠の技が必要であり、技術と経験をもとに顧客のニーズにいかに対応していくかを考え、「製品に誠心誠意、心をこめて」「軽くて丈夫な、長期使用に耐えるもの」この2点を motto に、皮革製品の注文にきめ細かく対応している。

「製品自体というより、職人技」を売るのが我々の仕事でもある」と石井社長は考えており、皮革製品の取扱いに必要な不可欠な高い技術力を、現在、長男である忠道氏が後継者として受け継いでいる。

皮革製品の加工技術で高い評価を得ている同社に興味をお持ちの方は、是非お問合せを。



石井朝道社長



革の裁断機・プレス機



電器工事業などで使用される腰袋